

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人 美深福社会

令和2年度

事業報告書

本部

## 本部 事業報告

本年度においては、創立30周年記念式典を計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染の影響を受け、のぞみ祭をはじめ主要なイベントはすべて中止となりました。

その中で、記念誌だけはどうか年度内に発行することができました。

国内全体に感染が広まった新型コロナウイルスに対し、社会福祉法人の地域に対する義務として、当法人の各事業所においては、クラスター感染を含め事業内容に合った感染防止に努めてきました。この感染防止対策により利用サービスの一時休業せざるを得ない状況となり、一部の事業所において事業収益が減少しましたが、法人全体を通しては前年度比較において差異はなく、やや安定した運営状況となりました。

また、コロナ禍における研修、会議のほとんどが書面による会議やリモートによる研修であり、随時参加をしています。

各事業所において、多機能事業所のぞみではトマトジュースの生産量も徐々に減少しており、利用者工賃向上計画等においても計画の見直しを行い、また、共同生活援助事業所共生の里では建物等の保全計画に則り、グループホームの老朽化に伴う屋根の塗装工事を実施しました。

障害者支援施設はれるにおいては、虐待・事故防止に向け、職員の資質向上を図ることを目的とした所内研修会の促進に努めました。

一方、高齢者福祉事業の特別養護老人ホーム及び老人デイサービスについては、コロナ禍における事業として、利用者一人ひとりに対し、適切なサービス提供に繋げていく内容の職員研修を実施し、介護の基本の再検証を行っています。

### 理事会開催状況報告

会議名	開催年月日	議 題
第1回理事会	令和2年6月9日	<ul style="list-style-type: none"><li>平成31年度 各会計における監事監査（決算）報告</li><li>平成31年度 美深福社会事業報告</li><li>平成31年度 美深福社会収支決算報告</li><li>定時評議員会の開催日程</li></ul>
第2回理事会	令和2年8月26日	<ul style="list-style-type: none"><li>理事長、業務執行理事の職務執行状況報告</li><li>令和2年度第1四半期の監事監査報告</li><li>社会福祉法人美深福社会理事候補者の推薦</li><li>社会福祉法人美深福社会各会計収支補正予算（第1次）</li><li>令和2年度第2回評議員会の開催日程</li><li>特別養護老人ホーム移設計画の提案内容協議</li></ul>
第3回理事会	令和2年12月8日	<ul style="list-style-type: none"><li>令和2年度第2四半期の監事監査報告</li><li>令和2年度各会計収支補正予算（第2次）</li><li>美深福社会就業規則の一部改正</li><li>美深福社会職員給与規程の一部改正</li><li>令和2年度第3回評議員会の開催日程</li></ul>

第4回理事会	令和3年3月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事長、業務執行理事の職務執行状況報告</li> <li>・ 令和2年度第3四半期の監事監査報告</li> <li>・ 令和2年度 各会計収支補正予算（第3次）</li> <li>・ 令和3年度 美深福社会事業計画</li> <li>・ 令和3年度 美深福社会収支予算</li> <li>・ 美深福社会各事業所長、管理者の任命</li> <li>・ 令和2年度第4回評議員会の開催日程</li> </ul>
--------	-----------	--

#### 評議員会開催状況報告

会議名	開催年月日	議 題
定時評議員会	令和2年6月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成31年度 美深福社会決算監査報告</li> <li>・ 平成31年度 美深福社会事業報告</li> <li>・ 平成31年度 美深福社会収支決算報告</li> </ul>
第2回評議員会	令和2年9月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運営等に関する諸般の報告</li> <li>・ 理事選任の承認</li> <li>・ 特別養護老人ホーム移設計画提案に対する意見</li> </ul>
第3回評議員会	令和2年12月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人監事報告</li> <li>・ 令和2年度各会計収支補正予算（第2次）</li> <li>・ 美深福社会就業規則の一部改正</li> <li>・ 美深福社会職員給与規程の一部改正</li> </ul>
第4回評議員会	令和3年3月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和2年度各会計収支補正予算（第2次）</li> <li>・ 令和3年度 美深福社会事業計画</li> <li>・ 令和3年度 美深福社会収支予算</li> </ul>

#### 監査実施状況報告

会議名	開催年月日	監 査 内 容
第1回監査	令和2年5月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成31年度 美深福社会各会計の収支決算</li> <li>・ 利用者の預り金（1月～3月）の状況</li> <li>・ 法人本部及び各事業所の運営状況</li> </ul>
第2回監査	令和2年7月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和2年度 第1四半期各会計収支状況</li> <li>・ 利用者預り金（4月～6月）の状況</li> <li>・ 法人本部及び各事業所の運営状況</li> </ul>
第3回監査	令和2年11月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和2年度 第2四半期各会計収支状況</li> <li>・ 利用者預り金（7月～9月）の状況</li> <li>・ 法人本部及び各事業所の運営状況</li> </ul>
第4回監査	令和3年2月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和2年度 第3四半期各会計収支状況</li> <li>・ 利用者預り金（10月～12月）の状況</li> <li>・ 法人本部及び各事業所の運営状況</li> </ul>

#### 法人役員研修状況報告

研修名（研修地）	研修年月日	参加者
健全経営に向けた適正人件費の算定法（WEB研修）	令和2年11月4日	十亀 業務執行理事

令和2年度

事業報告書

のぞみ

## 就労継続支援B型事業所のぞみ 事業報告

各事業の連携と効率化も図りながら、全体として総合的に事業を進めてきました。また利用者工賃達成目標（前年工賃達成額を超える）に対応するために事業に対するコストを見直し、利用者さんへの工賃向上に繋げて来ました。

利用者支援については、①能力に応じた作業に携わりながら精神的安定を図りながら生産活動の支援も行ってきました。②働くことを通じて、社会参加や生産活動に携わることの重要性も育成してきました。③作業を通じて健康的な身体を養うように支援をしてきました。

また、職場実習支援については、定期的の実習先状況の把握や私生活の状況等について担当者間の情報交換を行い、実習でのことについて相談できる体制作りをしてきました。

本年度は新型コロナウイルス感染予防の対策等で利用者の通所を制限するなどしたため、事業の縮小を余儀なくされましたが、一人の感染者も出すことなく支援と事業を進めることができました。

### 【農産加工事業】

#### （農産）

##### □事業実績

今年度のトマト生産について、当初予定ハウス20棟、苗本数10,000本を予定していたが、新型コロナウイルス感染予防対策の為、通所利用者を制限し行う。その為、農産事業も縮小しハウス13棟、7,000本の作付けとしている。

##### □事業報告

###### ◎農産部門

- ・年間事業内容について、4月～10月はトマトの育苗、定植、管理、収穫を行い、10月～3月は育苗ハウス回り、その周辺の除雪作業と、黒豆の選別、袋詰め、その他次年度に向けての設備準備等を行っています。
- ・利用者さん一人一人が意欲的に作業に取り組めるように、個々の作業力に合わせた作業を心がけて支援を行っています。
- ・トマトの生産については、目標収穫量13tに対して、収穫量10.4tとなり達成率80%となっております。病虫害の被害は少なかったもののコロナウイルス感染対策の為、予定収穫量を下回っている。

###### ◎委託事業

- ・委託事業として、同法人の特別養護老人ホームの除雪、園庭管理、はれる事業所、リサイクルセンター、共生の里事業所グループホームの除雪を実施する。

※新型コロナウイルス感染予防対策として4月20日から5月8日の間、通所者2割、5月11日から5月29日の間、通所者5割と必要最小限の人数で作業を行っています。

## (加工)

### □事業報告

- ・7月22日より製造を開始し、製造最終日は10月2日、稼働日は計16日。トマト原料が予定の13tを大幅に下回り、稼働日も計20日を切っています。安全な品質の製品製造に努め、作業工程の複数回確認の徹底、最終工程の殺菌中温度のデータ記録、管理をしています。
- ・利用者さんの支援においては、時間に追われながらの作業となるため、利用者さんの休憩時間を明確にし、休憩時間を確保する事で本年度も大きなケガや事故がなく終了しています。

## 【収集処理事業】

### □事業報告

町内9事業所及び当法人事業所の生ごみを回収。生ゴミ処理機は、老朽化のため1台のみ稼働させ、高温乾燥処理して堆肥の製造を進めている。堆肥の一般販売は、在庫の54袋が売れ切れ次第終了としている。また、堆肥化される以外の生ごみについては、名寄市の炭化センターに搬入し処理をしている。

委託業務として特養、のぞみ、はれる他の炭化ゴミ、一般ごみ、資源のみの運搬業務を担っている。

## 【クリーニング事業】

### □事業報告

#### ◎特養洗濯作業

- ・特養洗濯室で作業にあたり、特養利用者の衣類、布おむつ、タオル類の洗濯、乾燥等を365日行っています。職員2名(交代)、利用者1名～2名(交代)

#### ◎特養清掃作業

- ・特養全体の清掃を365日行っています。  
(職員1名、利用者1名 ※職員利用者の交代制)

#### ◎クリーニング作業

- ・特養、グループホーム、ケアホーム、はれるから委託を受け、寝具類の洗濯、乾燥、折り畳み等をのぞみ事業所内作業室にて作業を行う。利用者帰省時期についての作業は、必要に応じて、支援者主体で業務を行っています。
- ・昨年まで特養リース寝具類のロスが多かったが、染み抜き方法を改める事で、ロスを大幅に減らす事ができています。

## 【リサイクル事業】

### □事業実績

- ・資源化選別業務委託を行う。
- ・年々搬入量が減少して来ている反面、混入物や未洗浄の物が増えている傾向にあります。

### □事業報告

- ・紙の選別作業に置いて、ペースに波がある。特に当日の作業編成（メンバー）によって差が大きく開いてしまう事もあり、編成メンバーによっては都度声掛けを要しています。
- ・安全面に対してベルトコンベアー、プレス機、車両などと気を緩めれば、大きな事故へと発展する可能性もあり危険箇所に対しての意識付けと支援を行って来ました。
- ・作業手順の徹底と構内の把握、安全に対しての意識付けを徹底する。瓶、雑誌類、蛍光灯電池等のあらゆる作業に対しての応用を身につけ順応できるように進めています。
- ・空缶選別同様、ビン選別作業についても、残汁、ゴミの混入、色分けの不完全が見られ、都度声掛けの支援をしています。
- ・管理業務が別の会社の為、引き継ぎ等が的確に行えていない事があり、作業の効率化に課題が残る結果となっています。

## 生活介護事業のぞみ 事業報告

生活介護事業は、利用者の意思及びその人の人格を尊重して、個別の障害特性に配慮し共通認識のもと、一貫性のある活動支援を展開しています。更に室内での活動環境では、障害特性に配慮し構造化も図っている。また、新型コロナウイルスの感染対策も合わせ、配置の見直しなども行っています。

具体的な活動支援として、就労継続支援B型事業と連携しながら、①作業や創作活動を通じて、物作りの喜びや達成感を得ることが出来るように支援しています。②円滑な活動が可能になるよう、個々に合わせたグループ分けも行い支援しています。③利用者の体力維持、能力維持、認知症予防等ができるように、運動プログラムや療育プログラムを準備し支援をしています。④余暇活動支援等を行っています。本来であれば社会参加や外出支援も予定していましたが、コロナ禍であった今年度は、十分な支援ができませんでした。

### 【農産加工活動】

#### □事業報告

3月～6月：育苗・販売

7月～10月：トマト収穫後のヘタ取りと加工場への搬入などの作業活動などを行っています。

不定期：委託による羊毛ゴミ取り作業・たきつけ作り他。

年間：療育プログラムとして、選別・パッケージングなどの作業活動やマッチングカード。

創作活動として、パズルや塗り絵、裁縫の他、マッチングカードなどの療育プログラムの作成にも携わってもらう。余暇活動として、映画鑑賞、音楽鑑賞、外出支援等。

### 【クリーニング活動】

#### □事業報告

- ・委託された寝具等の折り畳み作業を、のぞみ事業所内作業室にて、就労継続支援B型事業と連携し作業活動を行う。作業については特に先方からの指摘等もなく、きちんと期日も守り実施できています。委託先の都合で、2月8日の納品で今年度終了。(扱い数が減った為)

※新型コロナウイルス感染対策のため、前年度の令和2年3月2日より事業を停止していたが、同年6月22日に再開し、作業前後の手指消毒、運搬の際に業者の滞在時間を短くできるよう事前準備を行うなど、可能な感染対策を実践している。

## 行 事 総 括

行事名	実施日	実施内容・結果
花 見（望の森）	例年 5 月	各行事とも新型コロナウイルス蔓延防止のため中止となっています。
第 23 回北・北海道知的障がい福祉協会パークゴルフ大会（旭川市）	例年 7 月頃	
第 30 回北・北海道知的障害福祉協会スポーツ交流会（旭川市）	例年 9 月頃	
第 31 回 のぞみ祭	例年 9 月頃	
第 42 回北・北海道障がい福祉協会卓球大会（剣淵町）	例年 10 月頃	
見学旅行（日帰り）	例年秋頃	
見学旅行（日帰り）	例年秋頃	
大掃除（事業所内）	12 月 28 日 12 月 29 日	
新 年 会	1 月 31 日	新型コロナウイルス蔓延防止のため中止となっています。
のぞみ慰労会	3 月 31 日	通常は一年間の作業慰労を昼食時にバイキング形式で作業総括と共に行っていますが、新型コロナウイルス感染予防のため個別膳で食事会の実施となりましたが、利用者さんは楽しい時間を過ごせたようです。

## 研 修 総 括

### 施設長関係

	研 修 名	開催地	開催日	参加人数
1	令和2年度全道施設長研修会 (YouTube ライブ配信)	美深町	2月4日	1名

### 国・道・振興局関係

	研 修 名	開催地	開催日	参加人数
1	令和2年度相談支援従事者研修〔現任〕 (講義リモートにて)	美深町	10月8日	3名
2	令和2年度発達障がい理解促進啓発事業に係るフォーラム(事業所内のZOOMにて)	美深町	11月22日	1名
3	令和2年度第1回北海道強度行動障がい支援者養成研修《基礎研修》(ZOOMにて)	美深町	12月4日 ～5日	1名
4	2020年度日本ソーシャルワーク教育学校連盟北海道ブロック社会福祉教育セミナー (ZOOMにて)	美深町	1月23日	1名
5	北海道強度行動障がい支援者養成研修フォローアップ研修(動画配信)	美深町	3月9日	1名
6	令和2年度北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修【施設従事者等研修】 (動画配信)	美深町	3月11日	1名

### 道社協

	研 修 名	開催地	開催日	参加人数
1	令和2年度 職員研修会 (事業所内のZOOMにて)	美深町	9月19日	1名
2	令和2年度支援研究委員会 (事業所内のZOOMにて)	美深町	9月23日	1名
3	令和2年度支援研究委員会 (事業所内のZOOMにて)	美深町	11月5日	1名
4	令和2年度支援研究委員会 (事業所内のZOOMにて)	美深町	1月15日	1名
5	令和2年度新任職員研修会	美深町	2月2日	1名
6	令和2年度支援研究委員会 (事業所内のZOOMにて)	美深町	2月22日	1名
7	令和2年度支援研究委員会 (事業所内のZOOMにて)	美深町	3月19日	1名

### 市町村関係

	研 修 名	開催地	開催日	参加人数
1	令和2年度感染症予防講習会	士別市	10月15日	1名
2	令和2年度食品衛生責任者 養成講習会	旭川市	10月23日	1名
3	食品苦情防止対策講習会	名寄市	11月17日	1名

### 虐待・権利擁護関係

	研 修 名	開催地	開催日	参加人数
1	令和2年度権利擁護セミナー (YouTube ライブ配信)	美深町	1月26日	1名
2	令和2年度権利擁護研修会	美深町	2月23日	1名

令和2年度

事業報告書

共生の里

## 共同生活援助事業 共生の里 事業報告

### 1. 地域生活の支援について

地域の方々とのふれあいの場を通じて、地域の方々には利用者の特性を理解して頂ける様につとめています。利用者の皆様は各自治会のふるさと夏祭りを始め、地域イベントへの参加を通じて、一員としての活動や交流が出来てきています。また、毎年グループホームで開催される町内団体の皆様との食事作りの交流会も恒例になり、大切なふれあいの場となっています。今後も利用者の皆様が地域の人達とふれあう場を提供し、生活の幅を広めながら豊かな地域生活を支援して参ります。

### 2. ホーム生活の支援について

地域生活も12年が経過し、重度・高齢化が進み介護を要する利用者が多くなっています。ホーム内での転倒による怪我也発生しており、手すりの設置などで対応していますが、すでに老朽化しているホームもあり、重度・高齢化に対応してグループホームの基盤整備の必要性が高まっています。また、作業に参加できない利用者が日中支援として、グループホームで過ごすことも多くみられており、世話人の業務負担さらには安定的経営に支障を来たしています。今後、ますます、高齢化は進み介護中心の地域生活支援へ移行することになります。このため、高齢者専用のホームの設置、重度化に対応したホームでの入浴も、食事を中心とした日中サービス一体型のグループホームの整備が必要な状況にあります。

### 3. ホームの体験利用の状況

コロナ禍の影響で、グループホームにおける体験利用は自粛させていただいたため利用はありませんでした。コロナが終息次第再開の予定です。

### 4. 余暇支援について

コロナ禍の影響で、日常的な外出・外食・サークル活動やよさこい活動については、自粛してまいりましたが、非常事態宣言解除後には、町内、名寄外出を再開しています。

### 5. 防災の支援について

昨今、高齢者や障がい者のグループホームでの火災発生が大きな社会問題となっています。特に夜間における火災時の対応や連絡体制の強化が求められています。事業所としても夜間の火災発生を想定した訓練の実施と緊急連絡体制の訓練を実施しました。今後も、災害計画やマニュアルの整備を行い、あらゆる災害に対する備えを今まで以上に整備していこうと思います。また、夜間支援員が常駐していない寮については警備会社による監視体制の中で支援しています。また、洪水を想定した全グループホーム参加による洪水想定避難訓練を実施し、車いすを使用されている利用者の移送に時間がかかることから、緊急時については、職員配置を車いす利用者に集中させるなどの対策を確認しました。

## 6. 感染予防について

本年度については、インフルエンザやノロウイルスの集団感染はありませんでした。4月～6月については緊急事態宣言により、コロナウイルス感染予防のため通所が休止になり、各寮での自粛生活に入りました。消毒の徹底、買い物の自粛、検温の実施など感染防止策を徹底してまいりました。世話人、支援員には大変な負担をおかけいたしましたでしたが、自粛期間を安全に過ごすことができました。

## 7. スタッフの研修について

職場内研修について多機能のぞみと合同で、7月21日、8月3日の2回、虐待研修を中心に行い、虐待の構造的仕組みや理論について学びました。また、派遣型の研修が中止になる中、リモートによる研修に10件参加しています。今後も業務に必要な知識、技術を習得して、スキルアップに取り組み、専門職として人材育成に努めていきます。

## 8. その他

### ・BCPの作成と設置

感染予防を徹底すると同時に、コロナ感染後の事業継続計画BCPを作成し、各ホームに設置し、感染後にスムーズな対応が出来るよう体制整備に努めています。次年度については、BCPに従い、感染後を想定しての亚克力板の設置、パルスオキシメーター(酸素飽和度測定器)などの設置を進めます。

### ・自粛による精神的ケア

コロナによる自粛期間が長かったために、利用者の皆様の中にはストレスを抱える方も多くいましたが、支援員、世話人の献身的な支援により、大きな問題行動もなく1年を終えることが出来ました。また、ご家族からの理解もあり、帰省の自粛や面会制限にご協力をいただきました。更なる長期化に備えて、利用者の皆様の精神的ケアに努めてまいります。

令和2年度

事業報告書

地域生活支援センターのぞみ

## 相談支援事業（地域生活支援センターのぞみ）事業報告

美深町の指定特定障害者（児）相談支援事業・指定一般相談支援事業の指定と、北海道の指定一般相談支援事業の指定を受け実施しています。

指定特定相談支援事業では、障害者サービス等利用計画を40件（町内・外）作成し、継続的モニタリングを124件に支援を行っています。

一般相談業務（基本相談）としては、24時間受け付け体制で地域や個人からの相談業務を実施しており、内容は、緊急性、事件性におよぶケースや、ご家族を含めたケース等も担当、他市町村まで及ぶ広域の社会資源の調整、困難事例の対応等と多岐にわたります。

地域連携としては、各機関（行政、医療、福祉、児童機関、民生委員、自治会等）との連携の為にケース検討会議を美深町地域ケア会議として毎月定期開催をしています。また、自立支援協議会への派遣、美深町の障害福祉に関する意見・計画等にも協力しています。

その他、障害支援区分の認定調査についても委託を受け実施しています。

障害者相談機関として近隣事業所、各行政機関、医療機関、各学校教育機関、美深育成園（児童）との連携の関係をもち、広域では上川圏の研修会へ参加、管内の事業所とネットワークを結んでおり、町内の障害者の把握と相談・サービス調整の活動を行っています。）

令和2年度

事業報告書

は れ る

# 入所施設支援 事業報告

## 1. 【日常生活支援】

個室化計画の中で、令和3年3月31日現在女性10名と男性9名が個室の利用、他14名が二人部屋を利用され、個室化率57%となっています。二人部屋使用による不眠、体調不調、不穏、トラブルがあり、居室変更では解決策とならない現状が続いています。

重度高齢化により、体幹維持や体力の低下、食事支援内容の増加があり、日常の支援を行なう中で支援者の人手不足を実感する状況でした。既存の浴室では入浴介助が難しく、清拭またはシャワー介助のみの対応となっている利用者の方が3名いる現状です。

また、長期化する新型コロナウイルス感染状況による旅行行事や外出行事、地域行事の中止がありました。施設内の消毒施行、換気、食事席の配慮を行ないますが、感染対策の難しさがあります。

## 2. 【社会生活支援】

今年度新型コロナ感染予防の為、マスク等感染対策を行い外出支援の実施を行いました。男子棟では6月から10月の間で町内外食支援を実施、外食を行わない期間は出前や弁当対応の支援を行ないました。女子棟では日中支援職員減の状況もあり町内外食支援は行いませんでした。

## 3. 【苦情解決】

苦情の受付はありませんでした。

## 4. 【個別支援計画】

サービス等利用計画に基づき、本人の希望を実現できることを目指し、支援計画の作成、半年ごとのモニタリングを行いました。

サービス担当者会議 19回開催

## 5. 【重度障害者支援加算】

強度行動障害支援プログラムでは女性利用者5名と男性利用者5名の計10名の支援の実施を行いました。

## 6. 【各種会議】

職員・支援課会議	9回開催
男子棟会議	7回開催
女子棟会議	4回開催
日中活動会議	5回開催
管理職会議	1回開催
主任以上会議	1回開催
給食会議	5回開催

## 7. 【地域交流】

新型コロナウイルス感染予防により、地域行事の開催はありませんでした。

## 8. 【感染予防】

新型コロナウイルスの感染予防とし、利用者と職員の検温の実施、手指消毒の実施の取り組みを行いました。令和2年11月より、はれる来訪者の方に対し、申請書記入対応の依頼を行いました。2月に感染予防委員会を開催、支援課会議(4月、8月、3月開催)の中で、新型コロナ感染症の感染予防周知、防護着の着脱実技の講習の実施を行いました。

今年度は、3寮と5寮Dルームに次亜塩素酸空間除菌脱臭機の設置を行いました。入所利用中のノロウイルス、インフルエンザ感染はありませんでした。

## 9. 【医療状況】

重度高齢化により、脂質異常症や高血圧等の内科受診、精神疾患治療による心療内科受診が増えています。平成31年度より入院延日数減っていますが、入院される方が多くなっている状況は続いています。

## 10. 【課題と次年度への方向性】

個室化計画の中で、令和3年3月31日現在個室化率57%となっています。平成25年事業計画へ「個室化」を掲げた以降、個室化の取り組みは未整備のままの状態が続いています。はれる事業展開整備の構築に関する提案として、主任以上の整備案の意見収集等を行っており、重度高齢化対応を含め、事業展開整備を前進できることが緊急の課題となっています。

令和2年度より夜勤体制へ移行し、日中の利用者支援に不備が生じないように調整を行いますが、支援者の人手不足を実感する対応状況があります。事故リスクと隣り合わせの支援業務の中で、安心感を持ち支援できる体制作り、利用者によさしさを持って寄り添う支援を目指します。

# 日中活動・生活介護支援 事業報告

## 1. 【活動支援体制】

令和2年度につきましては、活動体制の再構築として活動班を4班体制から2班集体(健康増進班、創作活動班)への体制変更を行いました。また、個別の特性・状況に応じた支援ができるよう、活動環境の整備を行い、活動プログラムの提供、機能低下予防や情緒の安定を兼ねた運動支援、水分補給の提供を行いました。

社会生活支援と余暇の充実として、施設外での余暇活動、外出支援を行いました。

## 2. 【活動内容】

### ・構造化の継続

意欲、集中力が持続する環境、時間設定を行い情緒の安定を目指した取り組みを行いました。また個別に応じた活動環境の整備、構造化を実施し、安定して取り組

める活動提供に努めています。

- ・健康管理支援

屋外での歩行運動を定期的に週3回(月・火・木曜日)実施し、機能低下予防や情緒の安定を目的に多くの方が参加され運動を行っています。お茶の提供を午前と午後の2回とし、体調管理に努めています。

- ・施設内外の環境整備

施設内では、ノロウイルス対策等における施設内消毒を実施しています。また、次亜塩素酸装備の空気清浄機の導入を行い、衛生保持に努めています。施設外では、施設周辺のごみ拾いや除草などの環境整備を行いました。

令和2年3月より新型コロナウイルス感染予防として、1日2回の室内、手すり等の消毒を行い、室内換気を定期的実施しています。手指消毒については施設内に消毒液をセットし対応しています。

- ・健康増進班

活動室の再構築として新たな環境作りを行い個別プログラムの充実に努めています。マッチングカード、ペグボード、ボルト組み、DVD鑑賞、テレビゲームなどを個別に応じ取り組んで頂きました。自閉症の方がわかりやすい視覚での理解に配慮し、スケジュール表の提示などを行っています。また、機能低下予防や情緒の安定を目的に、定期的な運動や体を動かすゲーム等の支援を行っています。お楽しみ行事とし2回昼食会の実施を行っています。また、通所で希望される方の入浴支援を行なっています。新型コロナウイルス感染予防に配慮し、外出支援、バス遠足、ハイキング、レクレーション等を行ないました。

- ・創作活動班

集団プログラムと個別プログラムを組み合わせ、活動支援を行いました。健康対策として、口腔体操、歩行運動を行っています。活動では、ビデオ鑑賞、テレビゲーム、音楽鑑賞、読書、手芸などに取り組んで頂きました。その他、前庭の花壇の管理を行っています。

また、通所の利用者さんも在籍しており、会話等を通して生活や悩み等の相談の場としても支援を行いました。喫茶活動を活動の内容に組み月1回程度実施しています。また、町民文化展への出展に向けた創作活動を行い、今年度も作品出展しています。作品作りを通しての交流、個人の趣向に合わせた作品を用意する事で、創作意欲を高めて取り組まれています。通所で希望される方の入浴支援を行ないました。コロナウイルスに配慮し外出支援、バス遠足、ハイキングを行ないました。

### 3. [課題と次年度への方向性]

次年度につきましては、利用者の重度化、高齢化が急速に進む中で個々の障害特性に合わせたプログラム及び、活動環境を今後さらに整備していく必要性があります。高齢化や重度化に対応できるプログラムや運動の再構築として実践し個別のニーズに沿えるよう進めていきます。また、コロナウイルス対策を徹底し職員間での連携・情報の共有を重点的に行い、活動体制を進め事故や怪我等の防止に努め、利用される方にとって活動体制作りに努めていきます。

## 行事総括

行 事 名	実施日	内 容
花見会	5月20日	利用者32名 職員11名 新型コロナ感染対策のため、例年の花見会とは違う形での開催となりました。男性は食堂、女性は女性棟に分かれて、おにぎり、ジンギスカン、焼きそばの花見会メニューを楽しみました。
新型コロナウイルス感染予防のため日帰り旅行の代替行事	6月22日 ～30日	※利用者29名 職員延数18名 《8班に分けて実施》 新型コロナウイルス感染予防のため、日帰り旅行は行わず、代替え行事として、のぞみの森へおやつを準備し出掛けました。外出機会が少なかったこともあり、楽しまれていました。
スポーツ交流会 (旭川市)	9月11日	北・北海道障がい者福祉協会主催のスポーツ交流会は、新型コロナ感染予防のため中止となりました。
第31回のぞみ祭	9月	美深福祉会創立30年の節目の年でもありましたが、新型コロナ感染予防のため中止となりました。
クリスマス会	12月16日	利用者34名 職員15名 16時より男性は食堂、女性は女性棟で、事前に余興のカラオケを録画したDVDの放映を行い、食事を行いました。新型コロナ感染対策のため、バイキングは行わず、一人分ずつ配膳したクリスマスメニューを楽しみました。クリスマスプレゼント(お菓子の詰め合わせ)を渡しました。
新年を祝う会	1月20日	利用者40名 職員11名 11時30分より男性は食堂、女性は女性棟で会食を行いました。例年すき焼きメニューでしたが、鍋物の提供は行わず、バラちらし、茶わん蒸し、果物、ケーキなどのメニューとしますが、混乱など無く楽しまれていました。
慰労会	3月24日	利用者41名 職員12名 11時30分より男性は食堂、女性は女性棟で会食を行いました。 すき焼き、おにぎり、くだものを一人分ずつ配膳し提供しました。ケーキや飲み物もあり、喜ばれていました。

## 研修事業報告

○新型コロナウイルスの長期的流行の為、予定されていた上半期の各種研修会は中止となり、下半期においてはオンライン研修にて受講する形となりました。

	研修内容	開催地	開催月	日程	交通機関	参加人数
1	新型ウィルス感染拡大防止研修及び集団指導	旭川市	7月	日帰り	公用車	1名
2	感染予防講習会	士別市	10月	日帰り	公用車	1名
3	発達障がい児者の地域支援を考える研修会※	美深町	11月	1日間	—	1名
4	北海道強度行動障がい支援者養成基礎研修※	美深町	12月	2日間	—	2名
5	権利擁護セミナー※	美深町	1月	1日間	—	2名
6	新任職員研修会※	美深町	2月	1日間	—	1名
7	権利擁護研修会(北・北海道)※	美深町	2月	1日間	—	1名
8	全道施設長研修会※	美深町	2月	1日間	—	1名
9	北海道障がい者虐待防止権利擁護研修※	美深町	3月	1日間	—	1名
10	行動理解のための研修会※	美深町	3月	2日間	—	1名
11	苦情解決システム研修会※	美深町	1月	1日間	—	1名

(※オンライン受講)

### 【事業所内研修】

#### 1. 虐待防止研修

- ・虐待防止への取り組みとして、支援課会議内で支援内容や虐待についての検討を行いました。

- 1回目 5月20日不適切対応について
- 2回目 10月21日虐待報道について
- 3回目 11月25日自閉症の方の支援について

- ・令和2年度事業所内虐待研修会とし、1月27日はれる事業所に講師として弁護士笠原裕治氏を招き、講演『改めて知る、虐待防止の概要』と質疑応答を行い、日頃支援で困っていること、虐待を防止するための理解を深める機会となりました。

#### 2. 事例検討研修

行動障がいへの理解や支援技術の向上、権利擁護を図る事を目的とし外部講師を招き全3回の過程で具体的事例を検討する内容で実施を行いました。

- 1回目 7月22日
- 2回目 9月23日
- 3回目 10月14日

令和2年度

事業報告書

美深町特別養護老人ホーム  
美深町老人デイサービスセンター

## 事業総括

- ・地域の高齢者支援の担い手として、入所施設、短期入所生活介護、通所介護事業を展開し、施設開設34年を経過しております。
- ・入所施設においては50床定員とし、平均介護度4.6を示し、重度・最重度化率90%となっています。近年においては、入院治療の必要性による空床化は避けられない状況で、運営費への直接影響や、身体・認知機能低下等による食事・排泄・入浴・日常生活等の手厚いケアの必要性、及び施設内の生活空間の老朽化、バリアフリー化、プライバシー確保など多くの課題を抱えています。早期の施設移設計画を美深町に要望していることから、令和2年度は、特に大規模な設備修繕の実施はありませんでした。

また、新型コロナウイルスの対策として、施設内での発生を想定し、ショートステイの4床を感染者の隔離部屋として準備を行い、また、一部廊下をビニール等で区切れるように工夫する等の対策を講じてまいりました。

- ・短期入所生活介護においては10床の利用定員とし、町内外対象者の日常生活支援や在宅介護者の負担軽減の場と捉えるが、対象者の変動や長期利用、他市町村からの利用状況により利用率変動が挙げられる。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策により4月利用分より1日の最大受け入れ人数を3名にしたこともあり、例年よりも稼働率が低迷しました。
- ・通所介護事業においては、利用定員15名とし、事業所送迎により在宅対象者の日中支援や在宅介護者の負担軽減の場であるが、登録・利用状況において、利用登録者26名、利用予定率66%、利用実績率82%、利用稼働率は61%となっています。新型コロナウイルス感染拡大予防対策により5月について、利用者の利用上限を1日2名とし、場所についても事業内でのサービス提供ではなく、法人施設のなかよし館を利用して事業を行った影響で収入も減少しより厳しい運営状況となりました。

### (その他)

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止により、4月以降もご家族様等に面会自粛の協力をお願いいたしました。
- ・毎月のお誕生会の夕食に全国ご当地メニューの食事提供を平成29年度より継続されており、令和2年度も継続して食事提供し、ご利用者様からご好評いただいております。
- ・自然災害に特化した災害訓練を実施し、移送に係る福祉車両操作の訓練と避難経路の再確認を行いました。
- ・虐待防止研修を事業所全体で行う予定であったが、コロナ感染拡大防止上、本年度は中止し、研修に行った職員の資料を各スタッフに配布しての自己研修といたしました。
- ・介護、看護職離れが深刻化しており、当事業所においても安定的な人材確保、人材育成が急務の課題となっている。

## 行事総括(特養)

	社会行事	施設内行事	実施日	諸活動他	内 容
4月	昭和の日 29日 春の火災予防運動	開所記念日	1日		夕食 赤飯
		誕生会	15日		岐阜県メニュー
5月	憲法記念日 3日 みどりの日 4日 こどもの日 5日 母の日 第2日曜日	母の日	10日		食事対応
		誕生会	20日		福島県メニュー
6月	父の日 第3日曜日	父の日	21日		
		誕生会	17日		神奈川県メニュー
		ホームまつり			コロナ感染拡大防止により中止
7月	海の日 23日 スポーツの日 24日 食中毒予防月間	誕生会	15日		長崎県メニュー
				食中毒予防	
8月	七夕 お盆 山の日 10日	避難訓練	12日		
		誕生会	19日		宮崎県メニュー
		スイカ割	12日		
9月	防災の日 秋の交通安全週間 敬老の日 第3月曜日 秋分の日 22日	敬老会 (セレモニー)	11日		コロナ感染拡大防止によりセレモニー変更
		花火鑑賞	16日		
		誕生会	16日		京都府メニュー
10月		自然災害避難訓練	9日～		
		誕生会	16日		滋賀県メニュー
		避難訓練	9日		夜間想定訓練
11月	文化の日 3日 勤労感謝の日 23日			インフルエンザ予防接種(11/13・20)	
		誕生会	14日		石川県メニュー
12月	クリスマス 25日 大晦日 31日	誕生会	16日		青森県メニュー
		ビンゴ大会	23日		ホールにて開催
1月	元旦 1日 成人の日 第2月曜	新年交流会	1日		1/1 ホールにてレクリエーション対応
		誕生会	20日		山形県メニュー
2月	節分 3日 建国記念の日 11日 天皇誕生日 23日	誕生会	17日		福井県メニュー
3月	春分の 20日	誕生会	17日		山口県メニュー
		追悼法要	10日		弘法寺住職による法要

## 特養老人ホーム

### (1) 入所状況及び要介護認定状況(平均介護度 4.6)

		要 介 護 区 分					男女別計	計
		1	2	3	4	5		
美深町	男	0	0	0	3	7	10	40
	女	0	0	2	10	18	30	
名寄市	男	0	0	0	1	1	2	7
	女	0	0	0	2	3	5	
計	男	0	0	0	4	8	12	47
	女	0	0	2	12	21	35	
計(介護区分別)		0	0	2	16	29		

### (2) 平均年齢

男 性	87.3歳
女 性	89.0歳
平均年齢	88.6歳
平均在籍	3.5年

### (3) 月別入退所状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入 所	0	0	1	1	0	1	1	1	0	0	1	1	7
退 所	1	0	1	2	1	1	0	2	0	0	1	1	10

### (4) 退所事由

搬送・入院先等での死亡による退所	6名
長期入院による退所	4名
他サービス移行等による退所	0名

### (5) 入院者数

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
入院者状況	実人員	6	5	7	7	5	3	4	1	6	5	8	9	66	5.5
	延日数	61	66	56	69	58	33	53	16	46	65	99	124	746	62.2
入院者症状		内科～発熱・肺炎・尿路感染・褥瘡等													

(6) 苦情等受付及び解決状況

- ・ 苦情、要望 0 件
- ・ 意見箱 0 件

(7) 地域交流の状況

事業所区域に該当する第五自治会との接点を持ち、各行事への参加協力及び事業所避難訓練時における現状確認及び災害時の協力体制の構築等今後の展開を模索する為、自治会との協議を継続する。

令和2年度は、コロナ感染防止により、各行事等の中止により地域交流がなされなかったのが残念である。

(11) 施設の管理化におけるヒヤリハット件数

ヒヤリハット 21 件

(12) 研修実績

開催日	研修者	研修名	開催地	主催
8月	1名	介護支援専門員 専門研修Ⅱ	旭川市	北海道総合研究調査会
8月	1名	危険物取扱者保安研修	士別市	危険物保安協会
10月	1名	北海道高齢者虐待防止推進研修会	旭川市	道社協
10月	1名	介護保険施設集団指導	旭川市	上川総合振興局
10月	1名	感染予防講習会	名寄市	名寄保健所
3月	1名	令和3年度介護報酬改定（栄養関連）の背景とポイント	オンライン	栄養士会

## 行事総括(デイサービス)

	行事内容	各種測定	総 括
4 月	主なレク～体力維持の運動	体重測定 月1回 バトルチェック (血圧・脈・体温) 利用毎	機能低下防止の為に全身を動かすレクを心掛けて実施しました。新型コロナウイルス感染症対策のため20日～30日まで休止しました。
5 月	新型コロナウイルス緊急事態宣言 発令中 デイサービス休止に伴い代替サービス(希望者のみ)提供 11日～15日 午後 入浴 18日～29日 午前 機能訓練 午後 入浴	"	新型コロナウイルス感染症対策のため、当事業所でのサービス提供ではなく、一日2名程度ではあるが、一部入浴が必要な人に対し、入浴を主としたサービスを法人内の施設なかよし館を利用して行いました。
6 月	茶会～くだものゼリー 主なレク～脳・体力維持の運動他	"	脳の機能の低下を防ぎ、若々しさを保って頂けるよう取り組みました。
7 月	茶会～牧場しぼり味わいアイス 主なレク～脳トレ・体力維持の運動他	"	体力低下しない為に全身を動かすレクを取り組みました。
8 月	茶会～ブラックアイス 主なレク～体力維持の運動他 行事～屋内昼食会	"	例年、バスハイク実施していましたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止しました。代替行事として、ごはん屋ノンノさんの弁当お出しさせて頂きました。
9 月	茶会～シュークリーム 主なレク～体力維持の運動	"	敬老の日にちなみ、花月堂さんのWシュークリームを用意させて頂きました。
10 月	茶会～クーリッシュアイス 主なレク～口腔体操	"	誤嚥防止、毎日の食事をより美味しく、摂取できるよう口腔体操を取り組みました。
11 月	茶会～コーヒーゼリー 主なレク～脳・体力維持の運動他	"	脳の機能の低下を防ぎ、若々しさを保って頂けるよう取り組みました。
12 月	茶会～イチゴショートケーキ 主なレク～脳・体力維持の運動他 行事～屋内昼食会(クリスマス食)	"	美深スーパーさんの散らし寿司弁当をお出しさせて頂きました。色鮮やかだったこともあり、大好評でした。
1 月	茶会～ヨーロピアンアイス 主なレク～脳・体力維持の運動他	"	脳の機能の低下を防ぎ、若々しさを保って頂けるよう取り組みました。
2 月	茶会～甘酒・ぱりんこせんべい 主なレク～体力維持の運動	"	利用者さんのリクエストで甘酒をお出しさせて頂きました。
3 月	茶会～桜餅 主なレク～体力維持の運動	"	お雛様にちなみ、花月堂さんの桜餅をお出しさせて頂きました。

## デイサービスセンターふれあい利用実績

### 1. 年間利用実績

開設日数 217日 定員15名

実利用人員 (R3年3月参考数値)			
介護度・障害区分	実人員	介護度・障害区分	実人員
事業対象者	2名	要介護1	10名
障 害	0名	要介護2	4名
要支援1	2名	要介護3	4名
要支援2	3名	要介護4	0名
		要介護5	1名
		合 計	26名

年間利用状況			
期 間	延べ利用者数	開設日数	平均利用
4～9月	833	122	6.8
10～2月	969	121	8.0
計	1,802	243	7.4
年間利用稼働率 71%			

### 2. 利用登録サービス提供状況 (R3年3月参考数値)

曜日	予定者	利用平均	稼働率
月	10人	9人	60%
火	8人	7人	47%
水	10人	9人	60%
木	9人	8人	53%
金	11人	11人	73%
計	48人	44人	293%
平均	10人	9人	59%
登録・利用状況	予定/定員 66%	実績/予定 82%	実績/定員 61%

地区名	登録者数	地区名	登録者数	地区名	登録者数
第1自治会	5	南自治会	0	斑溪自治会	0
第2自治会	1	東自治会	1	川西自治会	0
第3自治会	2	仁宇布自治会	0	玉川自治会	0
第4自治会	3	敷島自治会	2	西紋自治会	0
第5自治会	3	富岡自治会	0	恩根内自治会	0
新生自治会	9	吉野自治会	0	(独居者)	0(再掲)
				合 計	26

### 3. 研修実績

開催日	研修者	研 修 名	開催地	主 催
10月	1名	介護保険施設等集団指導	旭川市	上川総合振興局

### 4. 利用者別比率（年間）

事対・障害該当者利用比率	4.3%
要支援該当者利用比率	11.4%
要介護該当者利用比率	84.3%

5. 苦情受付・相談箱等処理状況 0件

6. ヒヤリハット・事故事例 0件